

発行元：(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会 事務局

TEL：042-707-1136 FAX：042-707-1217

E-mail：Sagamihara-koureikyo@peace.ocn.ne.jp

HP：<http://sagamihara-koureikyo.org/>

●相模原市高齢協の活動指針

本会は、高齢者福祉施設が使命とする高齢者の支援等を基本に、地域福祉の推進とサービスの質的向上を図るため、会員施設及び事業所相互の連携と共通課題について研究協議を行い、相模原市内に所在する施設及び事業所の健全な発展と高齢者福祉の推進に寄与することを目的としています。

●「さがみはら介護の日大会」開催のご案内

第12回「さがみはら介護の日大会」を以下の通り開催します。多くの会員職員の皆様の参加をお願いいたします。

会場：あじさい会館

日時：11月12日(火) 10:00～16:00

●シンポジウム「最期まで生きるを支える」

◆座長：広瀬病院 理事長 広瀬 憲一 先生

◆シンポジスト

自宅・特養・老健 それぞれの立場で看取りにか
かわったご家族と職員

●その他、研究発表や介護・福祉相談、最新の福祉機器
や介護食品の展示・試供品配布、活動紹介などのイベ
ントも催されます。

※「介護の日」とは

11月11日。高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への
啓発を具体的に実践するための日として2008年に制定されました。



●「介護ウィーク」開催のご案内

相模原高齢協では、会員である高齢者福祉施設地域が、地域を取り巻く福祉課題の検討
や地域貢献活動を推進するため、介護や地域福祉等をテーマとした取組み「介護ウィー
ク」を開催します。今年は19の施設が参加してイベントや講演会などが催されます。

開催時期：10月28日(月)～11月3日(日)

実施内容やスケジュール、申し込み方法等については、当会のHPや相模原市社協の
広報紙「みんないいひと」(10月1日号)などにも掲載いたします。

実施する事業所は以下の通りです。

「みたけ」「柴胡苑」「縁JOY」「中の郷」「東橋本ひまわりホーム」
「さがみ湖桂寿苑」「ケアプラザさがみはら」「ボーナビル二本松ケアセンター」
「青根苑」「東淵野辺デイサービスセンター」「コスモスセンター」
「相陽台ホーム」「東林間シニアクラブ」「シルバータウン相模原」
「古淵デイサービスセンター」「ケアステーションナナ」
「コミュニティホームピノ」「モモ」「マナーハウス麻溝台」(順不同)

●公開講座「避難所運営ゲーム（HUG）」開催

8月23日、公開講座「避難所運営ゲーム（HUG）」を「ななかまど」施設長、相模原市防災マイスターの田村政喜先生を講師に迎えて開催しました。

大規模な激甚災害が頻発する昨今、施設を運営する社会福祉法人には「福祉避難所」の開設が期待されています。

本研修は、架空の地域で避難所運営を任されたという想定の下で、避難者の状況や要望を考慮しながら、迅速かつ適切に対応する術をグループに別れてゲーム形式で学ぶというものです。避難所で起き得る状況の理解と適切な対応のあり方を体験する有意義なワークショップでした。

今年に入っても、台風や豪雨による激甚な災害が頻発している実情を見ても、日頃からこうした机上演習・訓練を行っておく意義、必要性が強く求められます。

11月には、さらに訓練を福祉分野に特化した「福祉避難所運営ゲーム」の公開講座を開催する予定です。また、避難所開設に伴うBCP（事業継続計画）に関する講座の開催も予定しております。

個々の事業所にとっても災害対策への取り組みは社会的な要請でもあり、待ったなし、喫緊の課題になります。積極的にご参加いただきたくお願いいたします。



●専門講座「ICFを用いた利用者とのかかわり方について」開催

9月13日、主として生活相談員や施設ケアマネ向けに、ソーシャルワークに関する「ICFを用いた利用者とのかかわり方について」と題した専門講座を、特別養護老人ホーム「やすらぎの家」施設長、林正先生を講師に迎えて開催しました。

WHO（世界保健機関）が提唱した「国際生活機能分類（ICF）」は障害を個人の問題とするのではなく、環境との関係でとらえる考え方で、一般にも広まりつつあります。

今回の研修は「介護施設におけるICFを踏まえた自立支援のあり方」を改めて考え、利用者を全人的に支えていくために、現場で稼働するケアマネジャーや生活相談員がどのようにかかわり方を持てばよいかを実際のワークを取り入れて検討してゆく有意義な内容でした。



●公開講座「施設における看取りを考える～ACPとは～」開催

9月18日、公開講座「施設における看取りを考える～ACPとは～」を、日本福祉大学社会福祉学部教授の北村育子先生を講師に迎えて開催しました。

終末期に臨んで、医療や介護のあり方に関するニーズはそれぞれ個別にあります。クライアントやその家族とあらかじめ話し合っ、そうした当事者の意思を引き出して、話し合った過程をそのまま関係者で共有する取り組み「**アドバンス・ケア・プランニング（ACP）**」が、注目を浴び始めています。

利用者本人と家族に対して、医療従事者や介護提供者などを交えた「チーム」全体で、疾患や障害だけでなく、意思決定能力が低下した場合に、当事者になり代わって支援を担うことまで備えて、共に考え、共有してゆくプロセスが必要不可欠となります。

今回の研修は、改めてACPについて学び、**施設における看取りのあり方、利用者の意思を尊重したケアのあり方**を考え、どのようにかわり、寄り添ってゆけば良いかを、実際の事例に即して検討してゆくという、意義深い内容となりました。



●専門講座「施設看護師の葛藤とやりがいについて」開催

9月20日、専門講座「施設看護師の葛藤とやりがいについて」を、社会福祉法人アゼリア会理事長の稲垣瑞穂先生を講師に迎えて開催しました。

施設看護師に求められる役割は幅広く多岐に渡っています。利用者の日常生活を支援する具体的な場面で、いかに医療的ケアを展開できるが重要になってきます。本研修は、日々の業務で見えてくる問題、直面して戸惑う事柄などに目を向けて振り返るという内容でした。

権利擁護の視点や多職種連携などの課題を踏まえ、グループワークなども交えて参加者それぞれが再確認することになりました。その上で、**施設看護師が「専門性」と「人間性」を発揮し、その重要性を理解して「やりがい」を見出しながら、さらにモチベーションを高め「笑顔で活躍」してゆく礎を築くヒント**を得る絶好の機会となりました。



●世界アルツハイマーデー啓発イベント「助けられ王国さがみはら」開催

9月21日、あじさい会館にて「世界アルツハイマーデー啓発イベント『助けられ王国さがみはら』」が、相模原市・市立あじさい会館の主催で開かれました。

本イベントは、様々な企画を通じて『認知症になってもお互い様の助け合えるさがみはら』の実現を目指し、パレードや認知症カフェ、認知症サポーター養成講座、認知症当事者とその家族による講話、映画上映などが行われました。多くの市民や各企画の関係者、市職員などがかわって盛大な催事となりました。



毎年9月21日は「国際アルツハイマーデー」。「国際アルツハイマー病協会」（ADI）と世界保健機関（WHO）が共同でアルツハイマー病をはじめとする認知症に関する認識を高め、患者と家族に支援と希望をもたらすことを目的として制定されたものです。

【賛助会員】

愛知金物建材 株式会社
株式会社 ウェブトラスト
株式会社 タマパーク
Office CPSR（臨床心理士・
社会保険労務士事務所）
株式会社 みらい
株式会社 ディフェンス
アライブかながわ
住宅型有料老人ホーム 田名新宿住宅
日興テクノス 株式会社
株式会社 きらぼし銀行 相模原法人営業部
株式会社 ナリコマエンタープライズ
相模原商事 株式会社
ケアミックス 株式会社
福永隆太(株式会社タウンニュース社)
公益財団法人 相模原市勤労者
福祉サービスセンター
リンデンB・I 町田・相模原

株式会社 コンティ
守屋綜合法律事務所
千寿産業 株式会社
株式会社 三ノ輪建設
株式会社 ケイ・アース
シープラス 株式会社
株式会社 中島建設
住宅型有料老人ホーム 勢水
住宅型有料老人ホーム あんず
株式会社 永田屋
日本ゼネラルフード 株式会社
株式会社 IDO
株式会社 太陽住建
株式会社 リンク・アップ
株式会社 シマソービ
神奈川ロイヤル 株式会社
株式会社 京和
敬称略／加入順

◆ 次号から賛助会員の皆様の「自己紹介」（一言コラム）の連載を始めさせていただきます。ご協力をお願いいたします

●編集後記

広報紙第18号をお届けします。今後もより一層、内容を充実させてゆく所存です。施設や職員の紹介やイベント案内など、どんなものでも結構です。ご協力お願いいたします。

連絡先は、相模原市高齢協事務局（広報誌担当）まで

〒252-0236 相模原市中央区富士見6-1-20（あじさい会館内）

TEL：042-707-1136 FAX：042-707-1217 E-mail：Sagamihara-koureiiky@peace.ocn.ne.jp